



OJI HOLDINGS



2017年2月新発売 『かざらない、誠実な、一度きりの1/6000。White』



王子ホールディングス株式会社

決算説明会資料

2017年5月19日(金)

領域をこえ 未来へ



I. 2016年度決算概要

1.	2016年度 連結業績概要	3
2.	連結営業利益増減内訳 (2015年度 対 2016年度)	4
3.	セグメント別売上高・営業利益 (2016年度実績)	5
4.	セグメント別利益増減分析 ①生活産業資材	6
	②機能材	7
	③資源環境ビジネス	8
	④印刷情報メディア	9

II. 2017年度業績予想

1.	2017年度 連結業績予想	11
2.	連結営業利益増減内訳 (2016年度 対 2017年度)	12
3.	セグメント別売上高・営業利益 (2017年度予想)	13
4.	セグメント別利益増減分析 ①生活産業資材	14
	②機能材	15
	③資源環境ビジネス	16
	④印刷情報メディア	17
5.	外部環境の変動による影響	18

III. グループ経営目標

1.	収益計画 (1)経営理念・経営戦略	20
	(2)2018年度中期計画進捗状況について	21

IV. トピックス

1.	海外紙おむつ事業の拡大	23
2.	研究開発 ①セルローズナノファイバー(CNF)	24
	②薬用植物「甘草」・水処理事業	25

《参考資料》

	連結営業利益推移	27
	自己資本利益率(ROE)推移	28
	連結有利子負債残高推移	29
	連結設備投融資・減価償却費推移	30
	連結就業人員推移	31
	2016年度 業界需要動向	32



I . 2016年度決算概要

1. 2016年度 連結業績概要



(単位：億円)

	2015年度	2016年度	増減
売上高	14,336	14,399	63
営業利益	737	705	▲32
経常利益	624	512	▲112
親会社株主に帰属する 当期純利益	153	366	213
減価償却費	786	748	▲38
海外売上高比率	27.8%	28.2%	0.4%
海外所在会社営業利益	294	200	▲94
為替レート [期中平均・円/US\$]	120.1	108.4	▲11.7
連結子会社			
国内	88社	95社	+ 7社
海外	88社	102社	+ 14社
合計	176社	197社	+ 21社

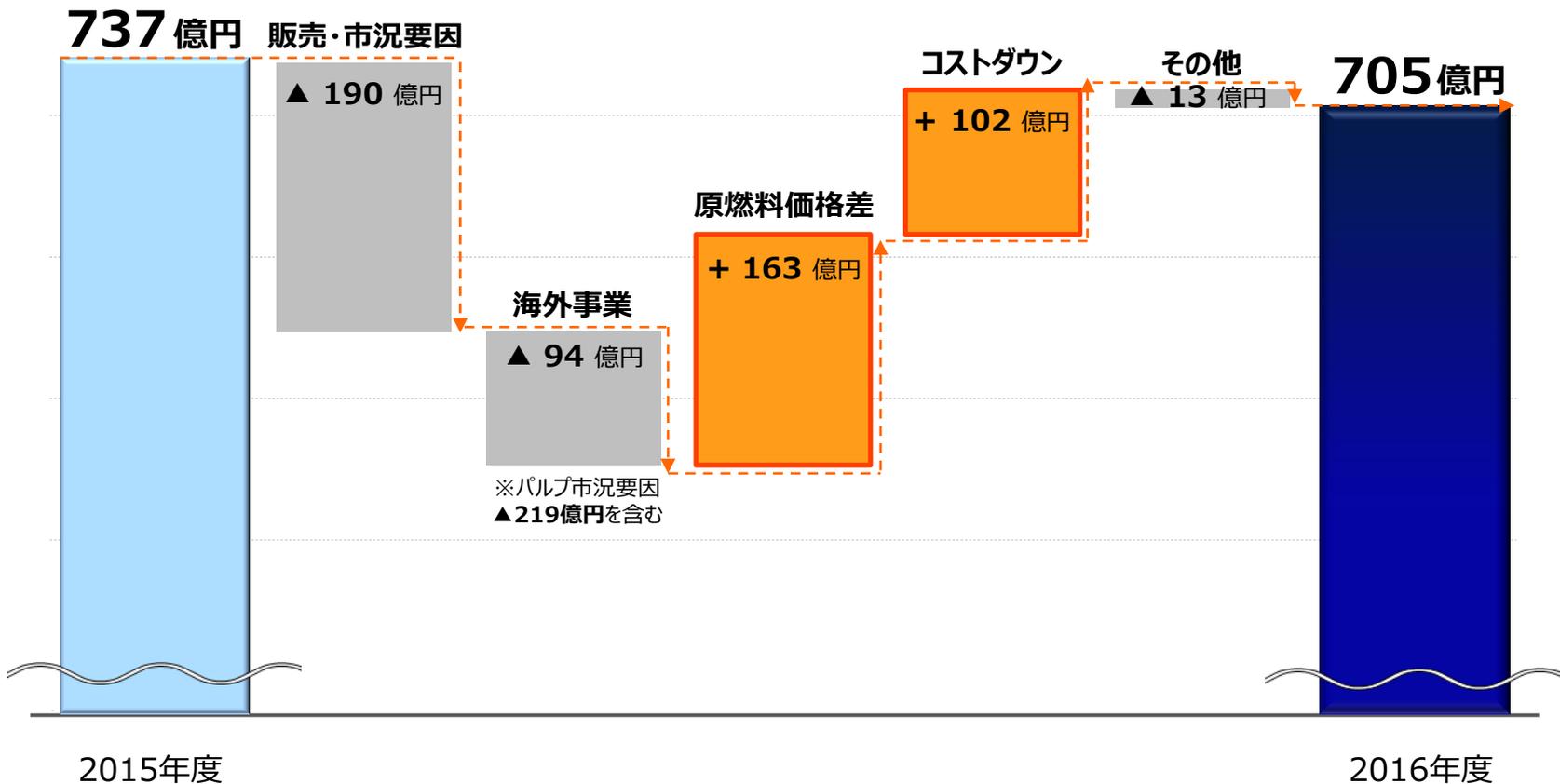
国内+7社 : 製袋事業関連7社連結化

海外+14社 : 製袋事業関連5社・中国機能材関連1社・製材関連5社連結化、

マレーシアラベル関連2社・段ボール1社買収、豪州段ボール関連2社設立、他

他に、持分法適用関連会社 + 1社 (海外 + 1社)

継続的なコストダウンに努めるも、パルプ市況軟化影響等により▲32億円減益

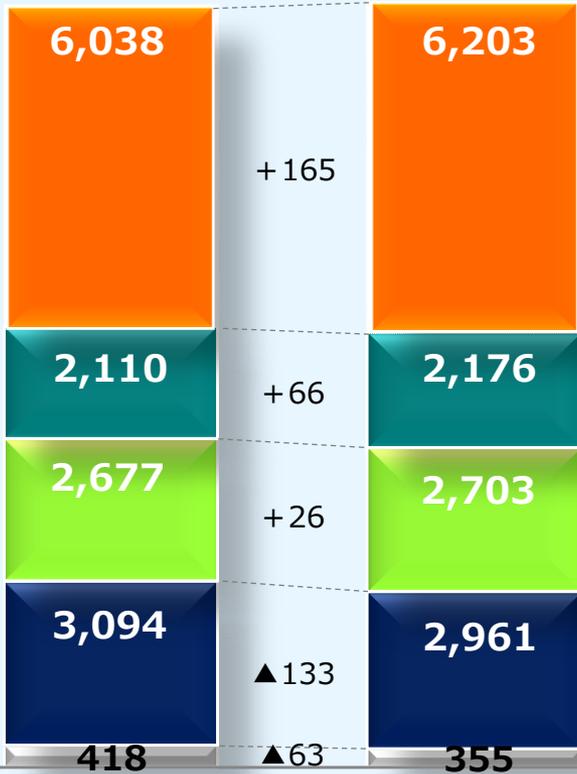


3.セグメント別売上高・営業利益 (2016年度実績)



売上高

14,336 +63 14,399



2015年度

2016年度

営業利益

737 ▲32 705



2015年度

2016年度

(億円)

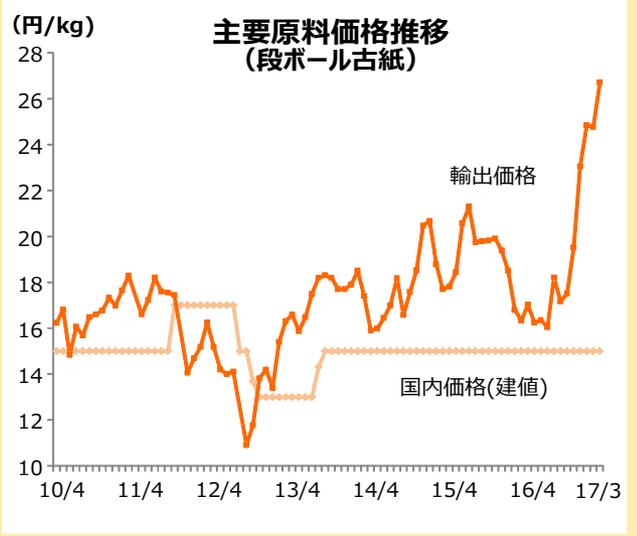
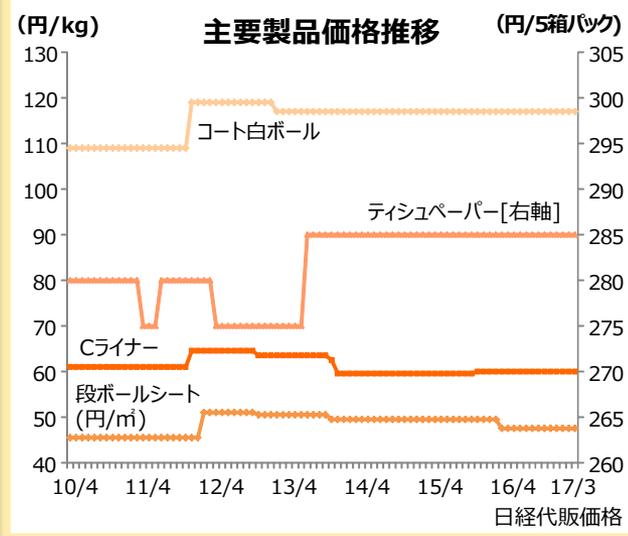
- : 生活産業資材
- : 機能材
- : 資源環境ビジネス
- : 印刷情報メディア
- : その他+調整額

4.セグメント別利益増減分析 ①生活産業資材

2015年度			2016年度			増減額	
売上高	営業利益		売上高	営業利益		営業利益	
6,038 億円	188 億円	うち国内 125 億円 うち海外 63 億円	6,203 億円	188 億円	うち国内 151 億円 うち海外 37 億円	+0億円	うち国内 +26 億円 うち海外 ▲26 億円

増減益要因 (+0億円)

- ◆ 国内事業 +26億円
- 原燃料価格差 +52億円
- コストダウン +48億円
- 販売・市況要因 ▲71億円
- ◆ 海外事業 ▲26億円
- 東南アジアの段ボール販売が堅調に推移するも、円高による換算レート差額等により減益



主要製品売上高実績(注)	2015年度			2016年度			増減			
	販売数量 (千・百万㎡・百万枚)	販売単価 (円/kg・㎡・枚)	販売金額 (億円)	販売数量 (千・百万㎡・百万枚)	販売単価 (円/kg・㎡・枚)	販売金額 (億円)	販売数量 (千・百万㎡・百万枚)	対前年比 (%)	販売単価 (円/kg・㎡・枚)	販売金額 (億円)
紙 家庭紙 国内事業	193	230.71	445	194	228.97	444	1	100.6%	▲1.74	▲1
包装用紙 国内事業	256	108.39	277	266	99.52	264	10	104.0%	▲8.87	▲13
板紙 国内事業	2,943	64.82	1,907	3,034	63.55	1,928	91	103.1%	▲1.27	21
段ボール (百万㎡)	3,803	63.48	2,414	3,864	62.57	2,417	61	101.6%	▲0.91	3
紙おむつ (百万枚)	876	19.84	174	897	19.73	177	20	102.3%	▲0.10	3

(注) 連結グループ内生産会社の合算値、グループ内消費を含む

4.セグメント別利益増減分析 ②機能材

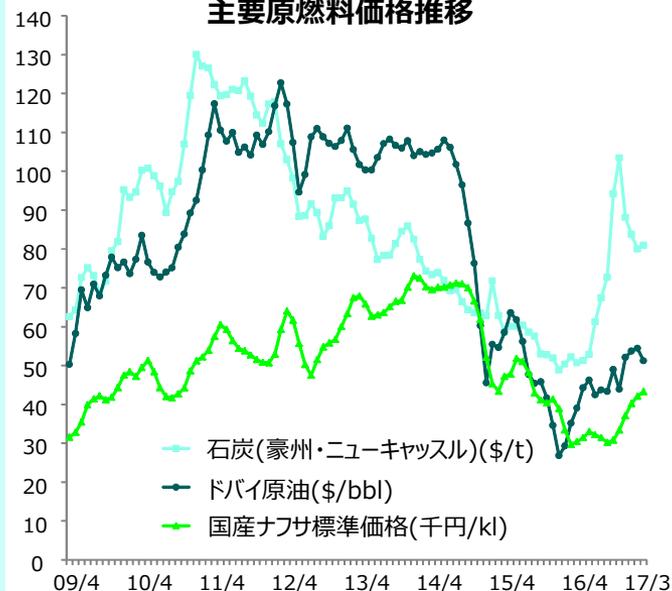


2015年度				2016年度				増減額	
売上高		営業利益		売上高		営業利益		営業利益	
2,110 億円	119 億円	うち国内 93 億円 うち海外 26 億円		2,176 億円	175 億円	うち国内 128 億円 うち海外 47 億円		+56 億円	うち国内 +35 億円 うち海外 +21 億円

増減益要因 (+56億円)

◆ 国内事業	+35億円	◆ 海外事業	+21億円
原燃料価格差	+39億円	感熱紙販売が	
コストダウン	+28億円	南米・アジアで好調に推移	
販売・市況要因	▲24億円		
	等		

主要原燃料価格推移



主要製品売上高実績(注)	2015年度			2016年度			増減			
	販売数量 (千t・百万㎡)	販売単価 (円/kg・㎡)	販売金額 (億円)	販売数量 (千t・百万㎡)	販売単価 (円/kg・㎡)	販売金額 (億円)	販売数量 (千t・百万㎡)	対前年比 (%)	販売単価 (円/kg・㎡)	販売金額 (億円)
感熱紙 (百万㎡) 国内・海外計	3,127	19.92	623	3,220	19.95	643	94	103.0%	0.03	20
特殊紙 国内事業	177	245.17	433	189	235.59	445	12	106.9%	▲9.58	12

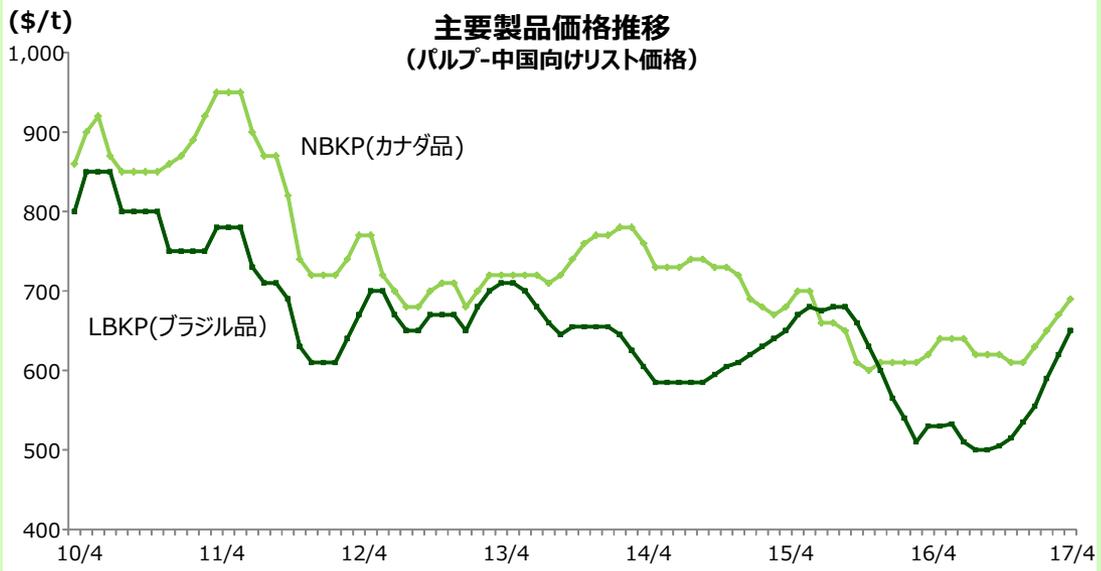
(注) 連結グループ内生産会社の合算値、グループ内消費を含む

4.セグメント別利益増減分析 ③資源環境ビジネス

2015年度			2016年度			増減額	
売上高	営業利益		売上高	営業利益		営業利益	
2,677 億円	315 億円	うち国内 73 億円 うち海外 242 億円	2,703 億円	194 億円	うち国内 87 億円 うち海外 107 億円	▲121 億円	うち国内 +14 億円 うち海外 ▲135 億円

増減益要因 (▲121億円)

- ◆ 国内事業 +14億円
 - ・2016年1月に営業運転を開始したバイオマス発電によりエネルギー事業が増益
 - ・溶解パルプの輸出販売が好調
- ◆ 海外事業 ▲135億円
 - ・パルプ市況要因 ▲219億円
 - ・パルプ販売数量増ほか +84億円



主要製品売上高実績(注)	2015年度			2016年度			増減			
	販売数量 (千t・GWh)	販売単価 (円/kg・円/kWh)	販売金額 (億円)	販売数量 (千t・GWh)	販売単価 (円/kg・円/kWh)	販売金額 (億円)	販売数量 (千t・GWh)	対前年比 (%)	販売単価 (円/kg・円/kWh)	販売金額 (億円)
販売パルプ 国内・海外計	2,168	68.33	1,482	2,378	58.13	1,382	209	109.7%	▲10.20	▲99
(うち溶解パルプ) 国内事業	75	101.99	77	95	96.75	92	20	126.7%	▲5.24	15
販売電力 (GWh) 国内事業	877	20.25	178	1,052	20.31	214	175	119.9%	0.06	36

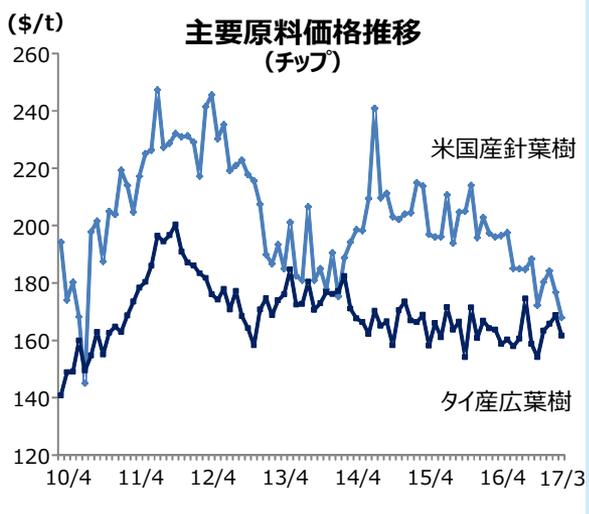
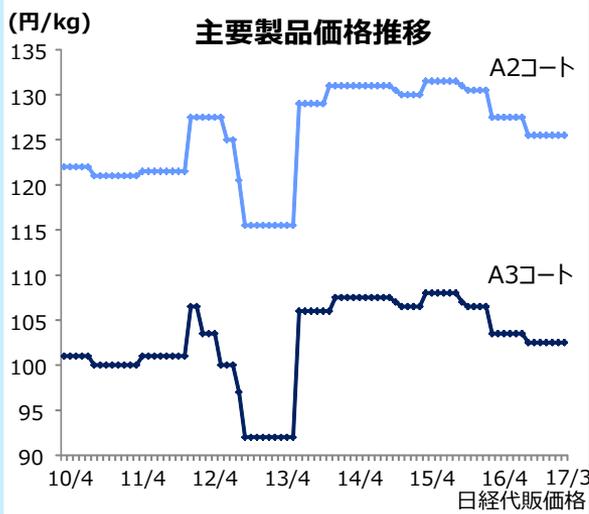
(注) 連結グループ内生産会社の合算値、グループ内消費を含む

4.セグメント別利益増減分析 ④印刷情報メディア

2015年度			2016年度			増減額	
売上高	営業利益		売上高	営業利益		営業利益	
3,094 億円	23 億円	うち国内 59 億円 うち海外 ▲36 億円	2,961 億円	55 億円	うち国内 45 億円 うち海外 10 億円	+32 億円	うち国内 ▲14 億円 うち海外 +46 億円

増減益要因 (+32億円)

- ◆ 国内事業 ▲14億円
- ◆ 海外事業 +46億円
- 販売・市況要因 ▲94億円
- コストダウン +21億円
- 原燃料価格差 +72億円等
- コスト削減対策や印刷用紙の増販等により収益改善



主要製品売上高実績(注)	2015年度			2016年度			増減			
	販売数量 (千 t)	販売単価 (円/kg)	販売金額 (億円)	販売数量 (千 t)	販売単価 (円/kg)	販売金額 (億円)	販売数量 (千 t)	対前年比 (%)	販売単価 (円/kg)	販売金額 (億円)
新聞・印刷情報用紙 国内事業	2,452	110.02	2,698	2,423	106.87	2,589	▲29	98.8%	▲3.15	▲108

(注) 連結グループ内生産会社の合算値、グループ内消費を含む

Ⅱ. 2017年度業績予想

1. 2017年度連結業績予想



(単位：億円)

	2016年度	2017年度予想	増減
売上高	14,399	15,000	601
営業利益	705	750	45
経常利益	512	640	128
親会社株主に帰属する 当期純利益	366	370	4
減価償却費	748	724	▲24
海外売上高比率	28.2%	29.4%	1.2%
海外所在会社営業利益	200	333	133
為替レート [期中平均・円/US\$]	108.4	115.0	6.6

(注) 上記の予想は、本資料の発表日現在における将来の経済環境予想等の前提に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後種々の要因によって予想数値と異なる場合があります。

2017年度予想前提条件

◆ 原燃料価格

- ・チップ：現行契約ベース
- ・古紙：現行価格レベル横ばい
- ・石炭：現行契約ベース

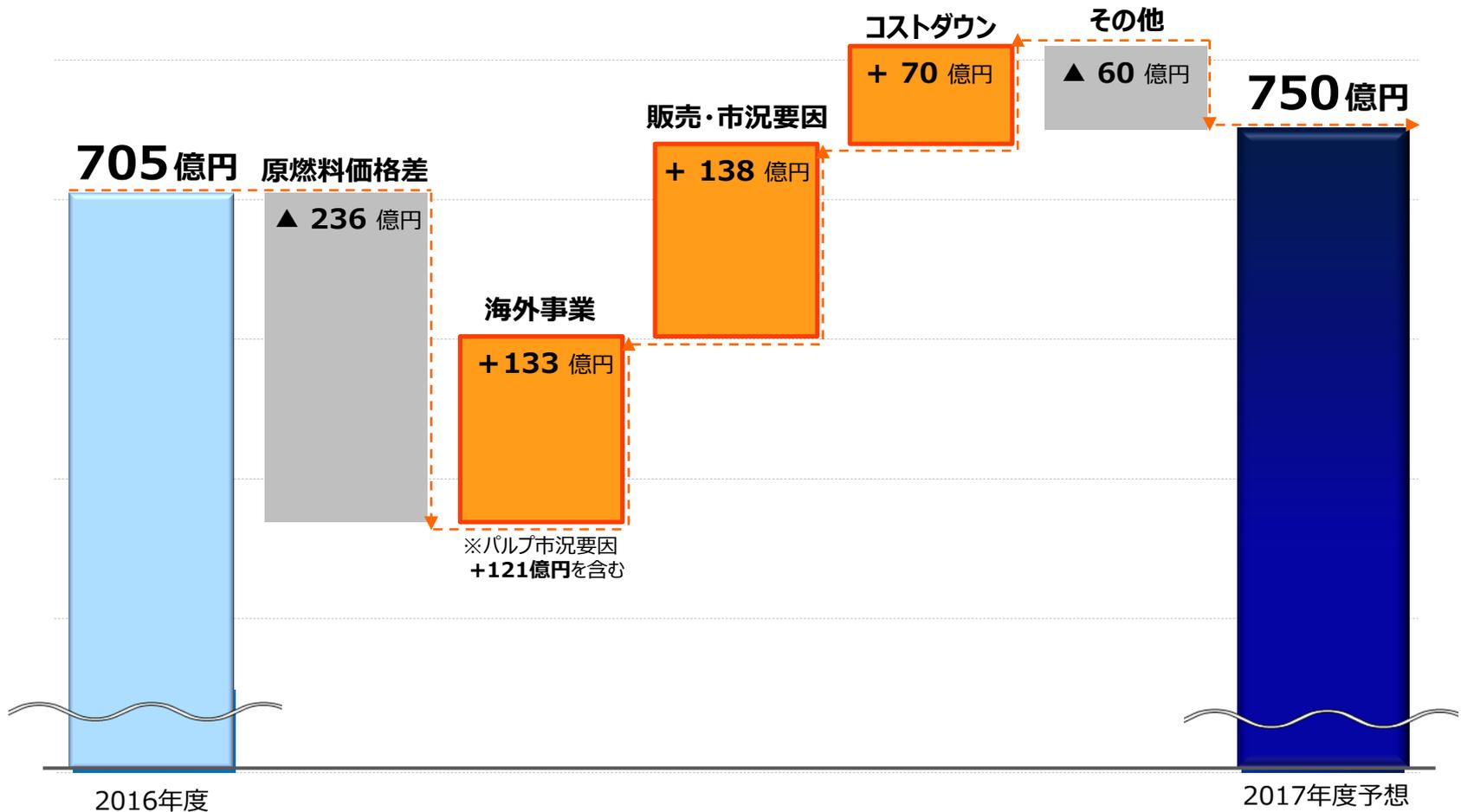
◆ 営業利益への変動影響（年間）

- ・為替レート [円]：対USドル1%変動につき±約3.7億円（USドル高-）
- 「ブラジルレアル」 [ブラジルレアル]：対USドル1%変動につき±約3.5億円（USドル高+）
- [NZドル]：対USドル1%変動につき±約7.5億円（USドル高+）
- ・古紙価格：1円/kg変動につき±約40億円
- ・ドバイ原油価格：1USドル/bbl変動につき±約2.6億円（重油、バンカーオイル、ナフサ関連製品 他）
- ・パルプ価格：10USドル/t変動につき±約24.0億円（パルプ高+）

2. 連結営業利益増減内訳 (2016年度 対 2017年度予想)



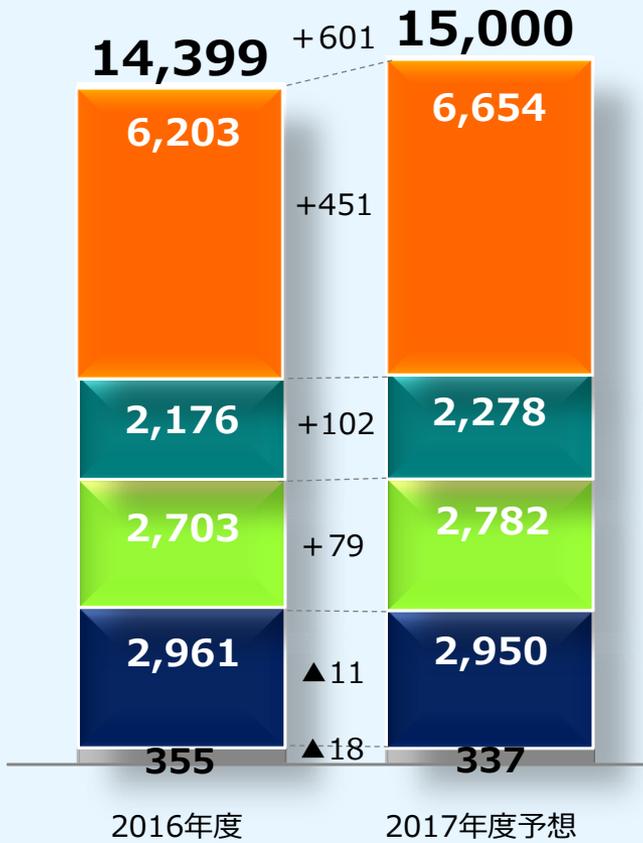
原燃料価格高騰も、パルプ市況の回復・価格政策・コストダウン等により
45億円増益



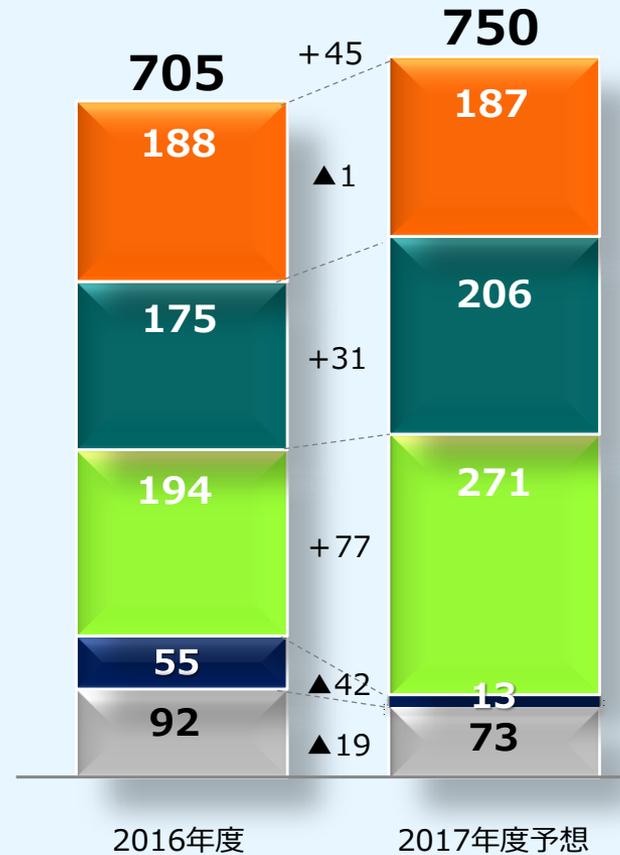
3.セグメント別売上高・営業利益 (2017年度予想)



売上高



営業利益



(億円)

- : 生活産業資材
- : 機能材
- : 資源環境ビジネス
- : 印刷情報メディア
- : その他+調整額

4.セグメント別利益増減分析 ①生活産業資材

2016年度			2017年度予想			増減額	
売上高	営業利益		売上高	営業利益		営業利益	
6,203 億円	188 億円	うち国内 151 億円 うち海外 37 億円	6,654 億円	187 億円	うち国内 123 億円 うち海外 64 億円	▲1 億円	うち国内 ▲28 億円 うち海外 +27 億円

「2017年度 利益増減要因」

国内事業 ▲28億円

◆生活消費財事業 ▲5億円

〔原燃料価格差 ▲12億円 紙おむつ数量増 +9億円 等〕

紙おむつ加工機増設

子供用パンツ型

2016年11月 営業運転開始

生産能力合計[計4機] 660百万枚/年

子供用テープ型

2017年9月 営業運転開始予定

生産能力合計[計2機] 265百万枚/年

高品質新商品の開発

2017年2月 新紙おむつブランド「Whito」上市



©やなせ・F・T・N

◆産業資材事業 ▲23億円

〔原燃料価格差 ▲143億円 販売・市況要因 +112億円 等〕

収益力強化に向けて

・O&Cアイボリーボード

2017年8月 営業生産開始予定

⇒コスト競争力のある高級白板紙を増販



O&Cアイボリーボード新マシン

海外事業 +27億円

◆生活消費財（紙おむつ）事業 +3億円

◆産業資材事業 東南アジア段ボール事業好調 ほか +24億円

海外パッケージング事業の拡大状況

Oji Fibre Solutions 製袋工場（ニュージーランド/オークランド）

事業内容 製袋（産業・衛生用途）の生産

スケジュール 2016年10月 新設ミルクパウダー用製袋ライン 営業運転開始

Oji Fibre Solutions 新段ボール工場（オーストラリア/クィーンズランド州）

事業内容 段ボールの製造・販売

スケジュール 2017年10月 営業運転開始予定



新設ミルクパウダー用製袋ライン



新段ボール工場外観（イメージ図）

4.セグメント別利益増減分析 ②機能材

2016年度			2017年度予想			増減額	
売上高	営業利益		売上高	営業利益		営業利益	
2,176 億円	175 億円	うち国内 128 億円 うち海外 47 億円	2,278 億円	206 億円	うち国内 135 億円 うち海外 71 億円	+31 億円	うち国内 +7 億円 うち海外 +24 億円

「2017年度 利益増減要因」

国内事業 +7 億円

- ◆ **販売・市況要因** +26 億円
- ◆ **コストダウン** +19 億円
- ◆ **原燃料価格差** ▲27 億円 等

研究開発型ビジネスの強化

⇒高付加価値機能材製品の開発・拡販



←製造拠点併設型の研究所で、革新的な高機能フィルムを開発

＜主力製品紹介＞

- ・アルファン電気用フィルム
- ・世界最薄レベルのハイブリット車用コンデンサフィルム



海外事業 +24 億円

- ◆ **感熱紙数量増** +18億円 等

Oji Papeis Especiais (OPE) の生産能力増強

- ① 2014年 ドライヤー増設 他 … 能力20%up
- ② 2017年 多層コーター設置完了予定 … 能力10%up

➔ ブラジルの好調な感熱紙需要を取りこぼさないよう、さらなる増産投資を検討中



OPE PC3

[東南アジア] 機能材一貫生産の推進、事業領域の拡大

Hyper-Region Labels (マレーシア)

- 事業内容** ラベル等 印刷・加工
- スケジュール** 2016年5月 株式取得 (発行済株式の60%)



Hyper-Region Labels 外観

Tele-Paper (TP) (マレーシア)

- 事業内容** 感熱紙・ノーカーボン紙 印刷・加工
- スケジュール** 2017年 株式取得予定

Oji Myanmar Packaging (ミャンマー)

- 事業内容** 軟包装製品等の製造・販売
- スケジュール** 2017年8月 営業運転開始予定



Oji Myanmar Packaging 外観

4.セグメント別利益増減分析 ③資源環境ビジネス

2016年度			2017年度予想			増減額	
売上高	営業利益		売上高	営業利益		営業利益	
2,703 億円	194 億円	うち国内 87 億円 うち海外 107 億円	2,782 億円	271 億円	うち国内 81 億円 うち海外 190 億円	+77 億円	うち国内 ▲6 億円 うち海外 +83 億円

「2017年度 利益増減要因」

海外事業 +83億円

◆パルプ市況要因

+121 億円	
江蘇王子製紙	+62 億円
Cenibra	+39 億円
Pan Pac	+19 億円
等	

◆コストダウン

+32 億円

◆販売数量差

+19 億円

◆レアル為替換算影響

▲47億円

◆原燃料価格差

▲18億円

中国向けリスト価格

パルプ市況は、
2016年9月頃底を打ち再び回復傾向に

2016年 (1-12月平均)	参考 (足元4月実績)
--------------------	----------------

LBKP (広葉樹)

520
USD/t

650
USD/t

NBKP (針葉樹)

590
USD/t

660
USD/t



Oji Fibre Solutions Tasman工場



江蘇王子製紙パルプマシン

4.セグメント別利益増減分析 ④印刷情報メディア

2016年度				2017年度予想				増減額	
売上高	営業利益			売上高	営業利益			営業利益	
2,961 億円	55 億円	うち国内	45 億円	2,950 億円	13 億円	うち国内	5 億円	▲42 億円	▲40 億円
		うち海外	10 億円			うち海外	8 億円		▲2 億円

◀2017年度 利益増減要因▶

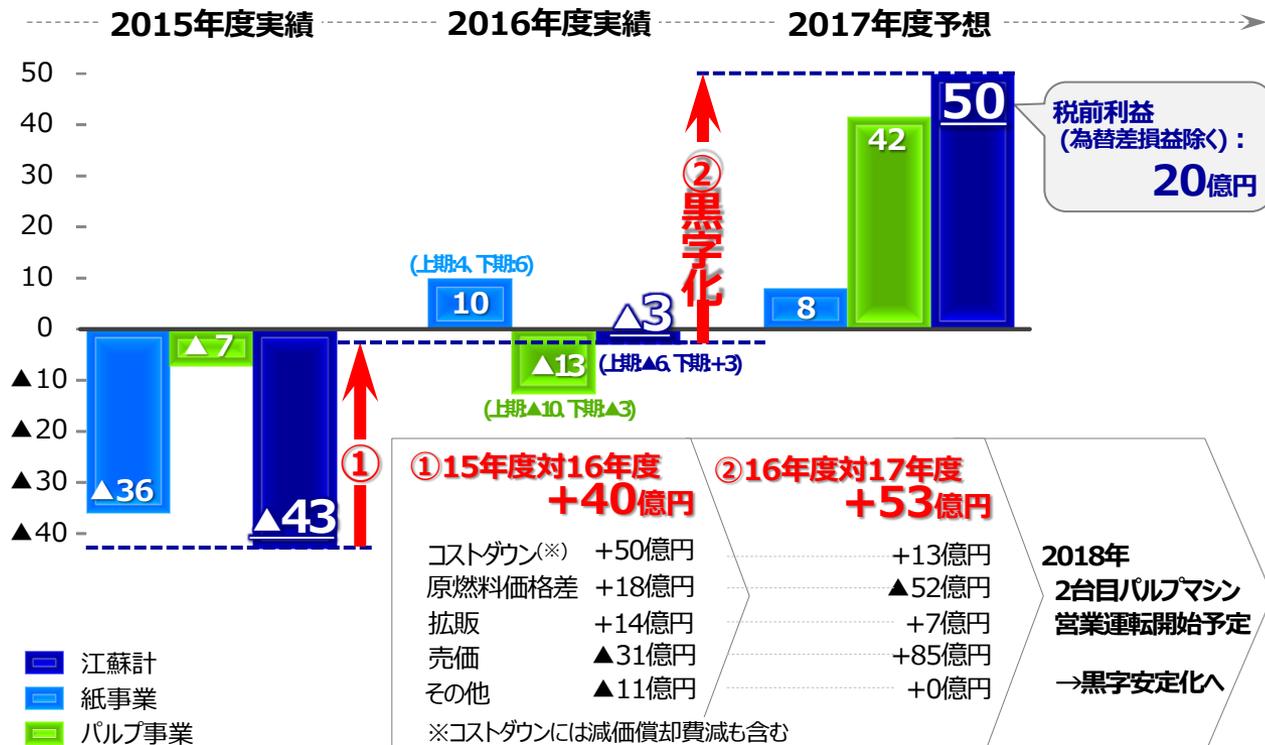
国内事業 ▲40億円

- ◆原燃料価格差 ▲54億円
- ◆販売・市況要因 ▲10億円
- ◆コストダウン +30億円
- 等

海外事業 ▲2億円

- ◆原燃料価格差 ▲37億円
- ◆販売・市況要因 +26億円
- ◆コストダウン +9億円

江蘇王子製紙(中国) 営業損益推移



5.外部環境の変動による影響

(億円/年)

				生活 産業資材	機能材	資源環境 ビジネス	印刷情報 メディア	影響額 合計
◆ 営業利益への為替変動影響				2017年度想定レート				
USD建 取引影響 (USD10%高)	円		115 円/USD	↓	→	→	↓	▲ 46
	ブラジルレアル	(BRL)	3.1 BRL/USD	→	→	↑	→	+ 35
	ニュージーランドドル	(NZD)	1.41 NZD/USD	↑	→	↑	→	+ 75
外貨建損益 換算影響 (円10%安)	米ドル	(USD)	115 円/USD	↑	↑	↑	→	+ 9
	ブラジルレアル	(BRL)	37.1 円/BRL	→	↑	→	→	+ 3
	ニュージーランドドル	(NZD)	81.7 円/NZD	↑	→	↑	→	+ 6
◆ パルプ価格影響 (10USD/t 高)				↓	↓	↑	↓	+ 24

+ : 良化
▲ : 悪化

グローバル化・多角化したグループ総合力で、為替変動、パルプ市況変化に対応

Ⅲ. グループ経営目標

1. 収益計画 (1) 経営理念・経営戦略

経営理念

～王子グループが目指す姿～

革新的価値の創造

未来と世界への貢献

環境・社会との共生

「領域をこえ 未来へ」

経営戦略

～グループ基本方針と経営数値目標～

～2016-18年度グループ基本方針～

海外事業の拡大

国内事業の集中・進化

財務基盤の強化

～2018年度経営数値目標～

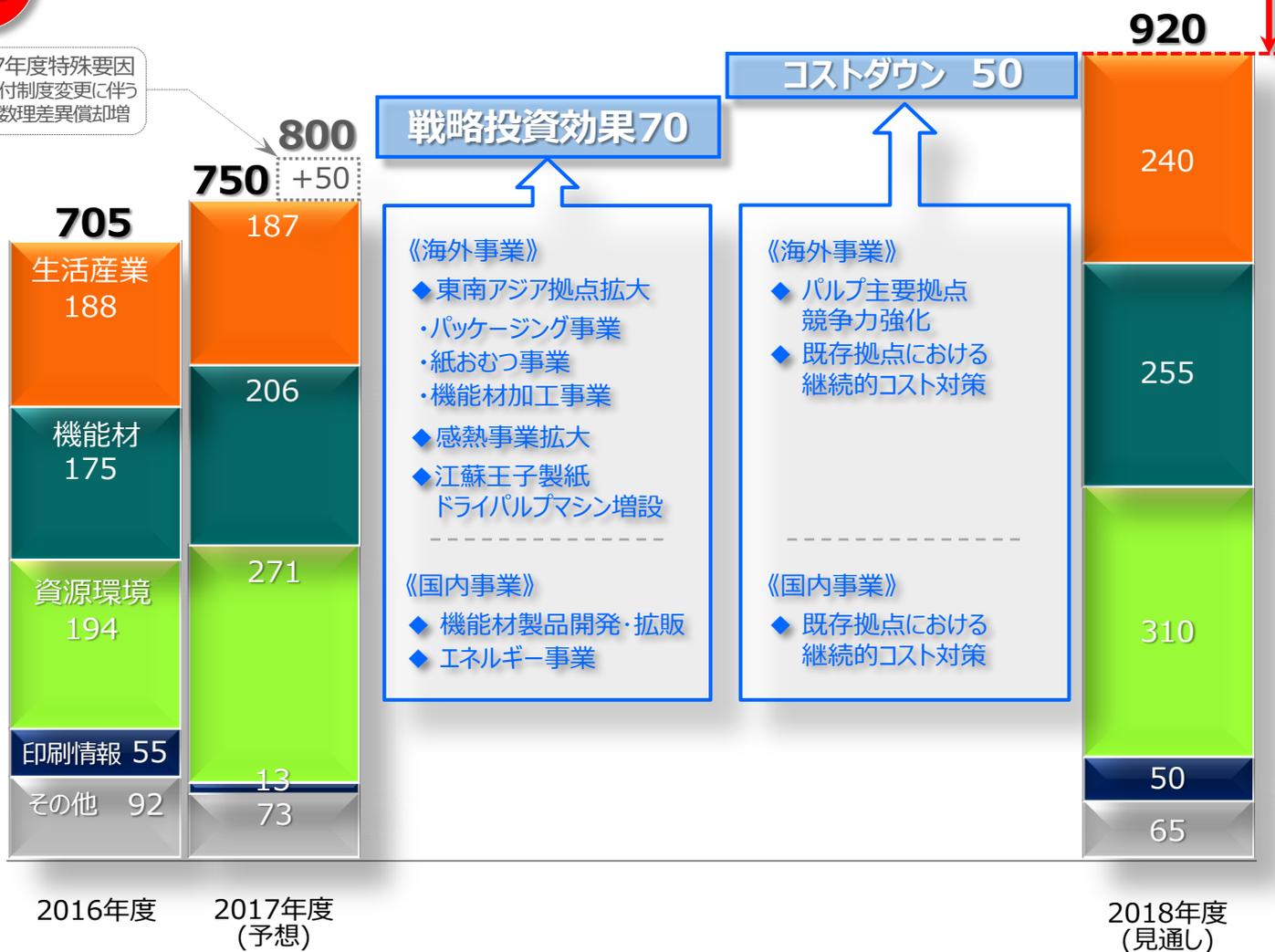
<連結営業利益>	1,000億円
<海外売上高比率>	35% (将来目標50%)
<有利子負債残高>	7,000億円
<ROE>	8%

1. 収益計画 (2)2018年度中期計画進捗状況について



1,000
億円

※2017年度特殊要因
退職給付制度変更に伴う
未認識数理差異償却増



計画未織込分

- ◆ 価格修正効果
- ◆ 推進中戦略投資案件
 - 段ボール加工事業
インド・東南アジア拡大
 - 紙おむつ事業
・中国現地生産
・東南アジア拡大加速
 - 感熱紙事業
KANZAN (ドイツ)
生産能力増強
 - 製材事業
Pan Pac (ニュージーランド)
生産能力増強等
 - 〈19年度以降〉----
 - 段ボール原紙事業
GSPP (マレーシア)
生産能力増強
 - 家庭紙事業
MPM王子ホームプロダクツ
2019年4月稼働予定
 - エネルギー事業
MPM王子エコエネルギー
2019年6月稼働予定

IV. トピックス

1. 海外紙おむつ事業の拡大

引き続き、東南アジアでの事業強化と日本からの輸出を拡大



OAHPおむつ製造ライン (マレーシア)

東南アジア商品販売① (マレーシア)

東南アジア商品販売② (カンボジア)

中国への輸出・中国現地生産販売

日本から
中国への輸出

“日本製”への嗜好が強い中国で、販売代理店を増やし全国的に輸出販売を強化

中国における
現地生産販売

輸出によるシェア拡大後、南通工場への設備投資を検討

東南アジアでの戦略的な事業強化

「マレーシア」

・People & Grit

2015年1月 買収

・Oji Asia Household Product [OAHP]

2016年4月 子供用パンツ型紙おむつ
営業生産開始

マレーシア
国内

さらなる配荷店舗・認知度拡大や
使用促進、商品優位性強化により
拡販を狙う

周辺国へ
輸出

すでに、ベトナム、カンボジア、ミャンマー、
UAEで販売開始。インド、シンガポール、
ブルネイ等さらなる新規参入を計画。

2017年4月 子供用テープ型紙おむつ販売開始
新生児を取り込みブランド浸透促進



今後は子供用だけでなく、
大人用やナプキン市場への参入も検討

「インドネシア」

・Oji Indo 合併会社

2016年11月

国内市場で販売開始



食品最大手インドフード社との合併。強固な販売網を活かした販売戦略で、販売は好調。



妊婦さん向け販売イベント(中国/上海)



◀ **新素材** : セルロースナノファイバー ▶

王子の独自製造技術

独自技術であるリン酸エステル化法により、パルプ微細化時に必要な**エネルギー量の低減を実現**

世界初！3形態のCNFを開発

- ① 透明連続シート → 製造実証プラント 2017年度後半稼働予定 [生産能力 **25万㎡/年**] (将来的に100万㎡まで拡大予定)
- ② スラリー状 → 製造実証プラント 2016年12月稼働 [生産能力 **40トン/年**]
- ③ ウェットパウダー状



① 透明連続シート
(世界初・当社独自)

【既存品】「アウロ・ヴェール」

【新規開発品】「アウロ・ヴェール3D」

② スラリー状

③ ウェットパウダー状

製品開発

2017年5月「アウロ・ヴェール 3D」(CNF透明シート) サンプル配布開始

高透明度、フレキシブル性、低熱膨張性に加え、自由に成形加工できる新しい特徴を持つ画期的なシート

➡ サンプル配布により、新しい分野・用途への展開を期待

2017年5月
「アウロ・ヴィスコ」
(CNF増粘剤)
提供開始予定

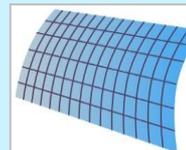
期待用途例



高級化粧品等の増粘・分散剤



プラスチック補強



自由変形有機EL・太陽光発電パネル



高強度で高柔軟性なディスプレイパネル



高機能・高細密ナノフィルター

等

≪ 新技術 : 薬用植物「甘草(※)」 ≫

※甘草：漢方薬の約7割に使用されているだけでなく、化粧品や食品・雑貨等に幅広く使用されている薬用植物。中国からの輸入に頼るが、中国では資源枯渇の懸念により輸出規制の対象となっている。

2013年 9月

医療植物研究室 設置

2016年 11月

甘草の国内短期栽培技術 確立
薬局方基準(グリチルリチン酸含量2.0%以上)達成までの栽培期間を 5~6年 → 2年に短縮することに成功

2017年 4月
(リリース)

アルビオン社の化粧品原料として実用化の見通し



当社甘草農場



甘草の根

≪ 既存技術の深掘 : 水処理事業の国内外への展開 ≫

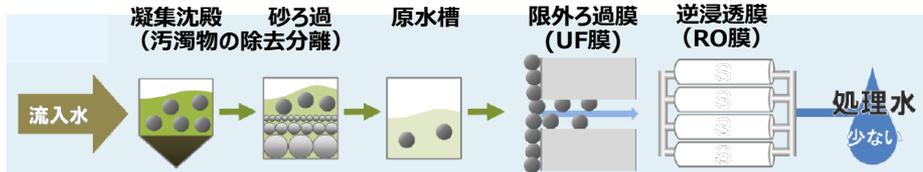
長年の紙パルプ製造を通じて蓄積した用水製造・排水処理技術を活用し、上下水、各種工場排水、産廃処理廃液、畜産廃液、産業用水等、あらゆる水環境に対応する水処理システムを提供



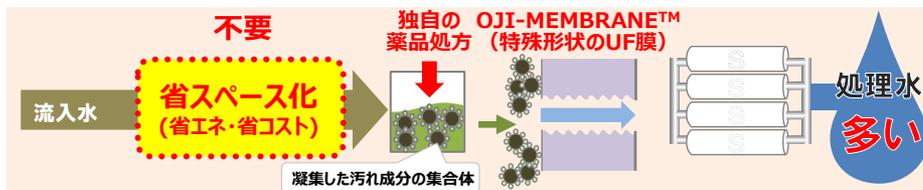
受注例

タイ/シンサコン工業団地 淡水化水処理システム

従来



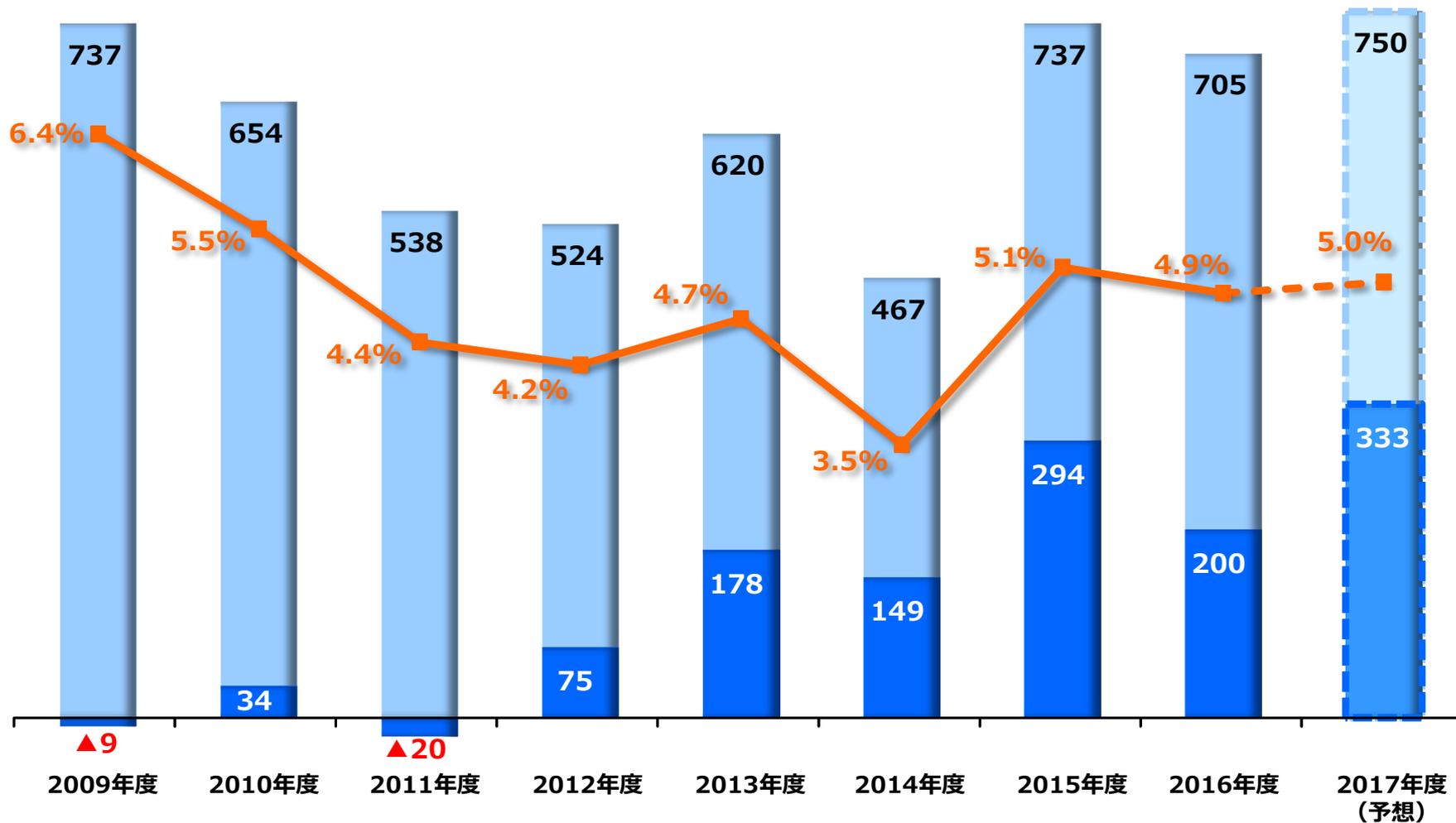
当社





《参考資料》

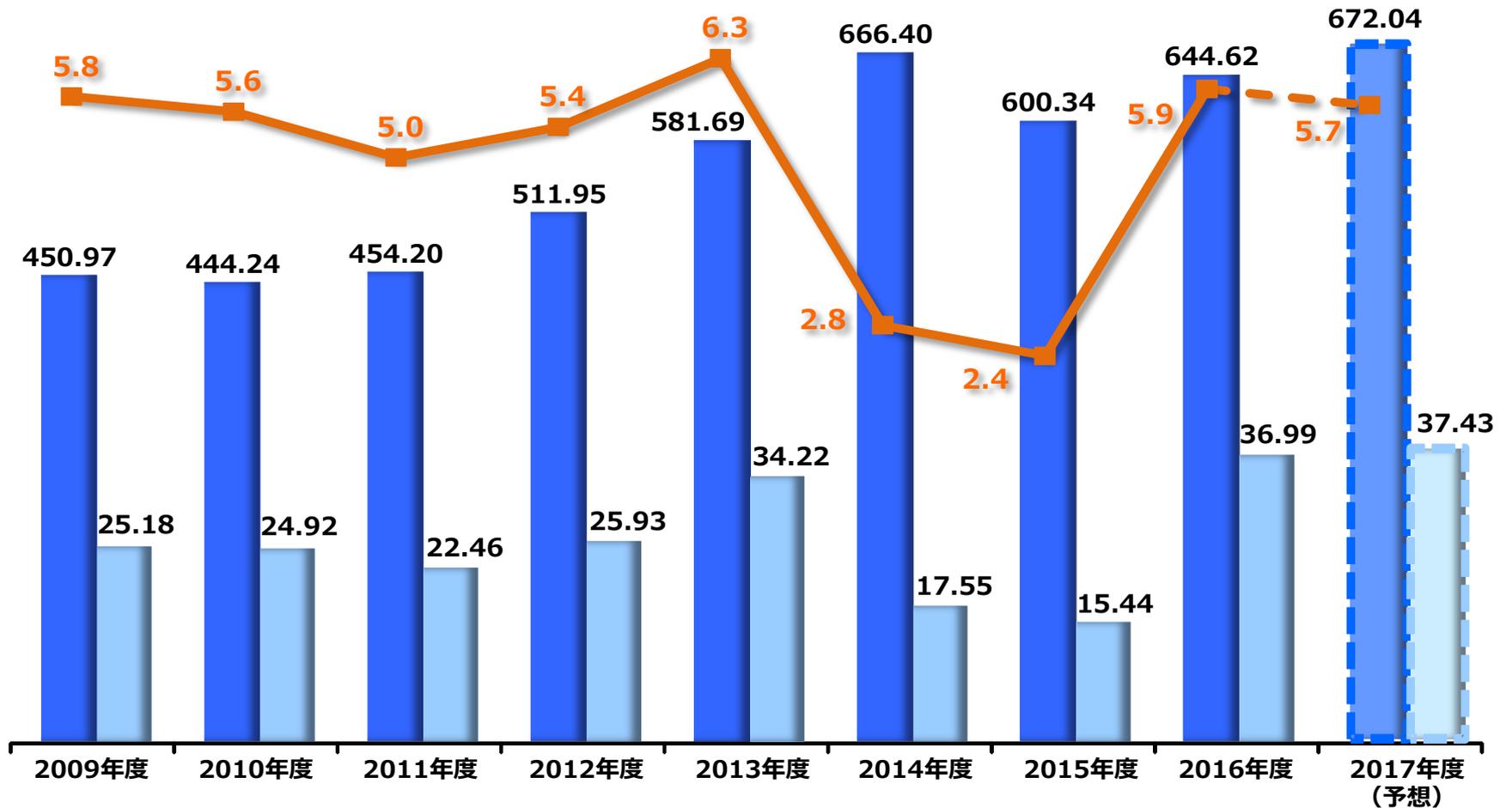
■ 営業利益
 ■ 海外所在会社営業利益
 —■— 売上高営業利益率
 (億円)



自己資本利益率 (ROE) 推移



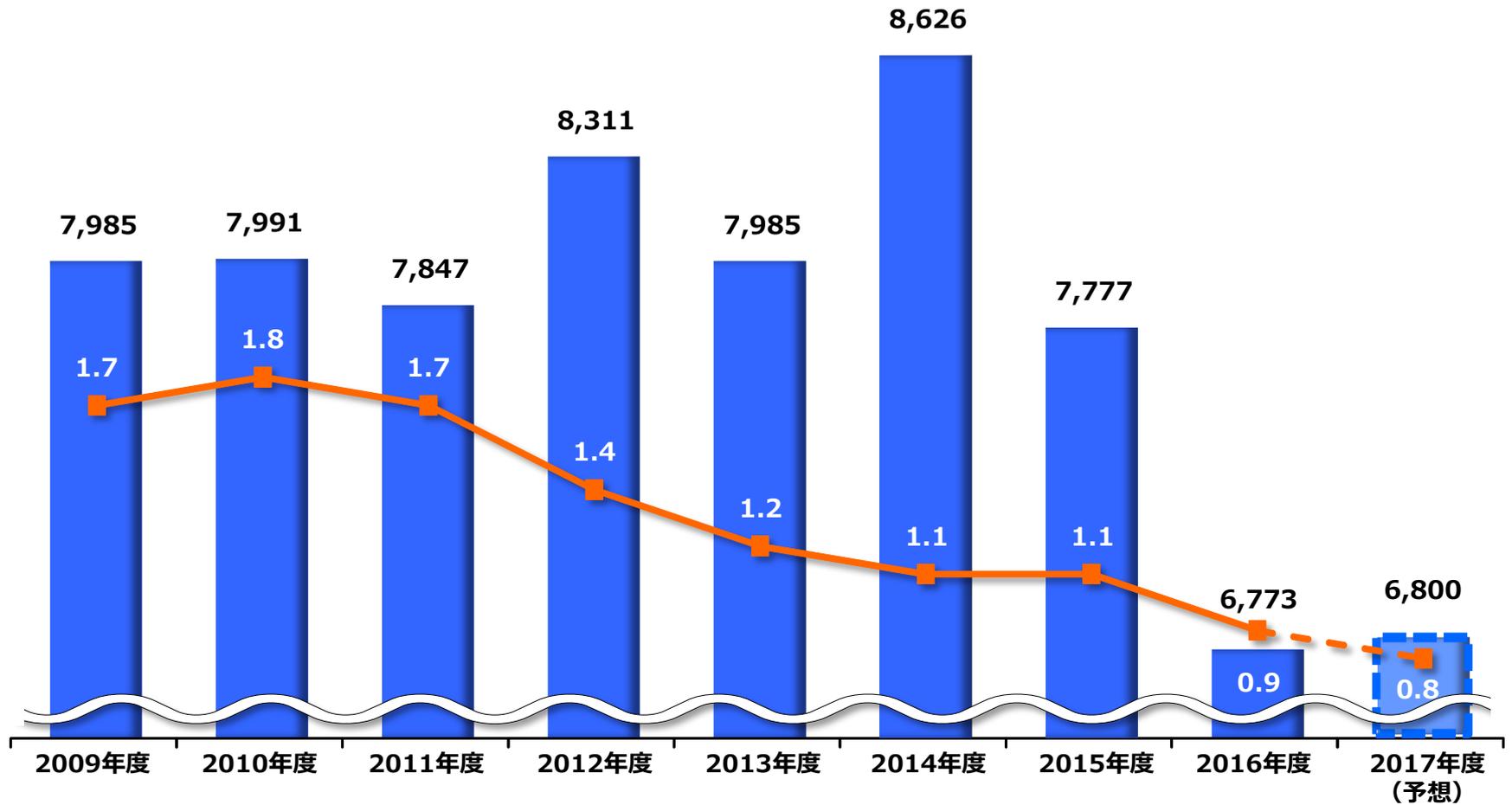
■ 1株当たり純資産 (円) ■ 1株当たり当期純利益 (円) —■— ROE (%)



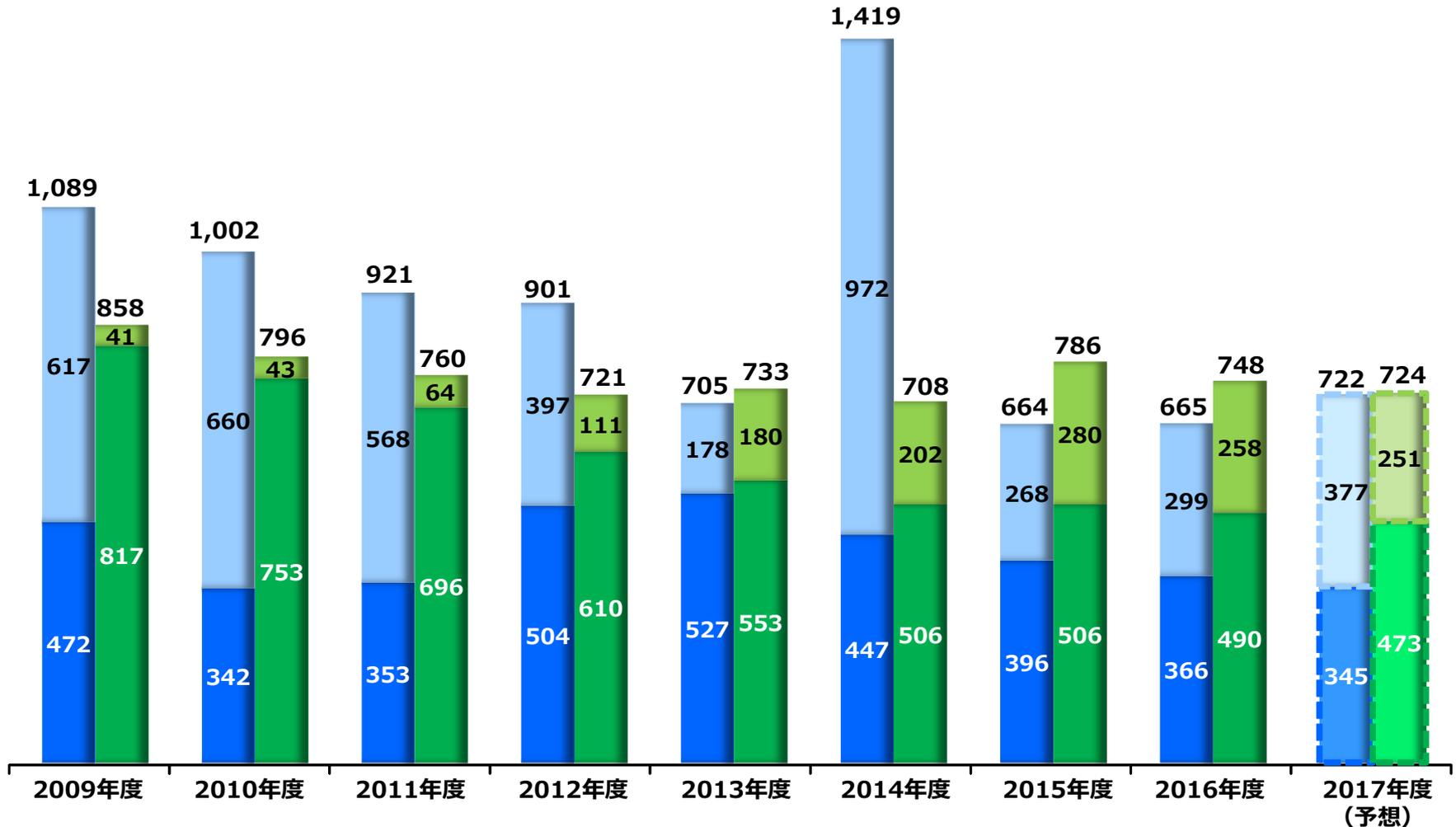
連結有利子負債残高推移



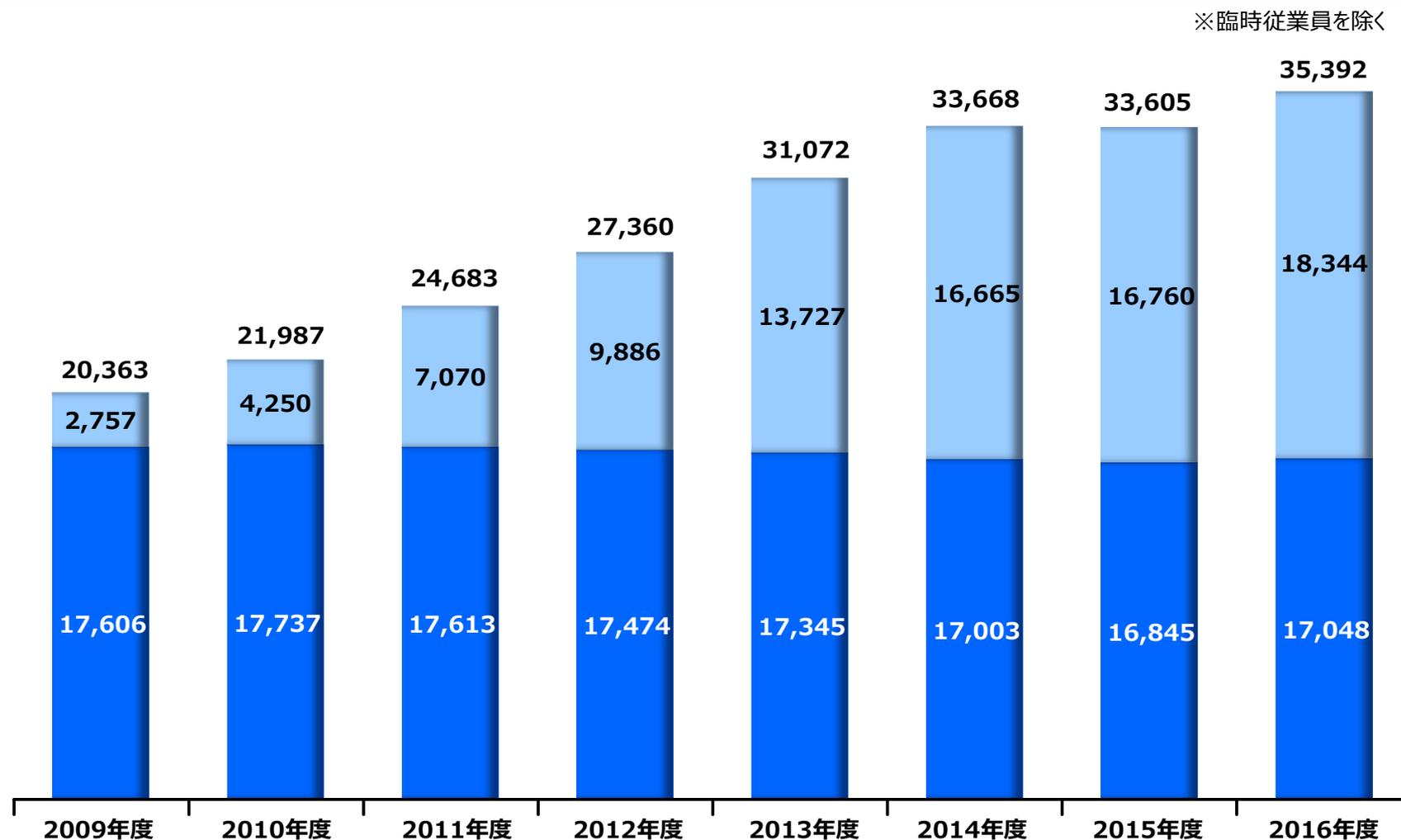
■ 連結有利子負債 (億円) —■— D/E (倍)



■ 国内設備投融资
 ■ 海外設備投融资
 ■ 国内減価償却費
 ■ 海外減価償却費
 (億円)



■ 連結就業人員（国内）
 ■ 連結就業人員（海外）
 (人)



(単位：千 t)

	国内出荷高		輸入紙 (通関) ※1		合計	
		前年比		前年比		前年比
段ボール原紙	9,015	101.7%	40	86.8%	9,056	101.7%
紙器用板紙	1,556	101.0%	248	97.6%	1,804	100.5%
その他の板紙	634	99.8%	26	95.2%	661	99.6%
板紙計	11,206	101.5%	315	95.8%	11,521	101.4%
衛生用紙	1,806	101.4%	195	108.0% ※2	2,000	102.0%
包装用紙	707	98.5%	7	97.5%	715	98.5%
新聞用紙	2,882	96.6%	13	25.2%	2,894	95.4%
印刷・情報用紙	7,604	99.7%	999	89.6%	8,603	98.4%
雑種紙他	719	98.5%	19	104.9%	739	98.6%
紙計	13,717	99.1%	1,233	89.9%	14,951	98.3%
板紙・紙計	24,924	100.2%	1,548	91.0%	26,471	99.6%

(単位：百万㎡)

段ボール ※3	14,036	101.5%			14,036	101.5%
----------------	---------------	---------------	--	--	---------------	---------------

出典：「日本製紙連合会紙・板紙需給統計」、「財務省貿易統計」、「全国段ボール工業組合連合会段ボール生産量」

※ 1：輸入紙（通関）の実績は2016年4月～2017年3月（速報）の実績

※ 2：衛生用紙の輸入紙（通関）に二次製品（加工品）を含む

※ 3：段ボールの数量は生産量（貼合されたシートの総量）



領域をこえ 未来へ

OJI

本資料は、金融商品取引法上のディスクロージャー資料ではなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
また、本資料に掲載された将来の予測等は、説明会の時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、不確定要素を含んでおります。
従いまして、本資料のみに準拠して投資判断されますことをお控えくださいますようお願い致します。
本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。